

生涯学習センター及び文化情報センター 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】生涯学習センター・文化情報センター

【指定管理者名】株式会社アステム

【評価対象年度】令和5年度

【施設所管課名】産業・文化部 生涯学習課

業務内容についての評価

条例・協定書等に基づき、適切な管理・運営を行っています。

令和5年度は昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症に対応しつつも、様々な事業を感染症流行前の形式に戻していけるよう試行錯誤した1年となりました。

5～8月に実施した全4回の「アクロス歴史文化カレッジ」では今年度から全4回一括申し込みを実施し好評であり、YouTubeによる配信も継続、7月に実施の「アクロス de サマーフェスタ 2023」では地域のことを地元の子供たちに知ってもらうことを目標にした「だいとう博覧会～令和ライジング～」も同日に開催し、昨年度を大幅に上回る参加者を記録するなど工夫を凝らしつつ、事業の活性化につなげています。10月にはだいとう地域塾事業である「だいとう図鑑をつくろう!」、11月には「ハンドフェス&癒しフェア DAITO」、2月には「国際交流コンサート ラテン・フォルクローレの響き」を実施するなど事業計画書に則り進められました。

また、8月の「アマチュアミュージシャンライブフェス」では、ここ数年はコロナ禍で無観客開催での配信や観客数を減らしての開催が続いていましたが、出演者とスタッフが協力し工夫することで今年度は過去最大29組で開催することができました。

DIC21での事業においては、「ワールドドキュメンタリー上映&感想会」と題し、音楽・ジェンダー・男女共同参画社会・節約など、多岐にわたる興味深いドキュメンタリー作品についてテーマごとの上映会を行い、鑑賞後の感想会も昨年度から継続して取り組まれました。また、例年アクロスで実施していた上映会を「まつりでほっとひとやすみ～プチ上映会実施中☆～」とし、市民まつり会場と近いDIC21での開催に変更し好評を得るなど、継続事業においても市民のニーズに応えるための工夫が見られました。

施設の維持管理では、日々修繕を行いつつ適正な管理を行っており、早急に必要な修繕、指定管理者で対応できる修繕の仕分けを行い、対応できています。

施設の利用者合計については、令和4年度に比べ令和5年度は増加しています。

【アクロス】R4: 38,512人、R5: 42,714人

【DIC21】R4: 4,719人、R5: 5,934人

昨年度までコロナ禍で十分な形で行えなかった事業も、今年度は工夫を凝らしながら実施することができたものが多くありました。その中で、市民のニーズを的確に把握し運営に反映させており、ただ事業を復活させるだけでなく新たな試みも見られ、柔軟に向上心をもって事業展開を行う姿勢が感じられました。常に情報収集を怠らず、市民サービスの向上、安全性と利用者満足度の兼ね合いを踏まえて試行錯誤している点を高く評価しています。

### 利用者満足度について評価

利用者アンケートは、利用者・来館者にアンケート用紙を配布し利用者自身で回収ボックスに投函する形式で実施。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け活動を自粛していた団体の復帰が多くみられ、回答数は昨年度より増加しました。アンケートに示された満足度は、「満足」「やや満足」が77.4%、「普通」21.0%、「やや不満」1.6%で、昨年度とほぼ横ばいの結果となりました。

今後については豊富な経験とノウハウを活かしながら、変化を続ける市民ニーズに対応していくことを期待します。

### 収支状況について評価

今年度は新型コロナウイルスが第5類に移行したことによってどこまで収支状況を回復することができるかに注目をしました。

収入について、実際には活動を休止した団体や他の施設での活動に切り替えたまま戻らない団体もあり、大幅な回復とはなりませんでしたが、7月に定員数が戻ってからは稼働率が回復傾向にありました。それに加え、経験の浅いスタッフへの指導に力を入れ、日ごろの窓口業務から新たな利用者の獲得につながるよう改善した結果、利用料金の増収につなげることができました。

支出について、消耗品や事業費を可能な範囲で抑えたことに加え、光熱水費の増額が想定を下回ったことともあり、黒字で終わることができています。

今後も、合理的な節減に努めるとともに、安定的な施設運営を目指し、利用者と稼働率の回復に向け取り組んでいくことを期待します。

### 総合評価

生涯学習センター及び文化情報センターの運営にあつては、市民の生涯学習活動、文化活動の普及振興を図ることを目的として設置された施設であるという基本理念のもと、きめ細やかな運営がなされていることが伺えました。

自主事業では「アマチュアミュージシャンライブフェス」において過去最大の参加人数で開催できたこと、またスタッフの指導にも注力し窓口対応を充実させるなど、市民ニーズを把握し、利用者の満足度向上を目指そうとする姿勢について、評価しています。

また、収支の面では、経費節減について積極的に取り組んでおり、効率的な施設運営につながっている点を評価しています。

今後も事業と窓口対応の質をさらに高め、利用者・稼働率の回復に努めてください。コロナ禍で得た経験を活かしながら、市民のニーズを的確に運営に反映させることをスタッフ一人ひとりが意識し、生涯学習の推進を活性化させるような施設運営を期待します。